

議題 2

議案第 23 号

平成 30 年 7 月 25 日 提出

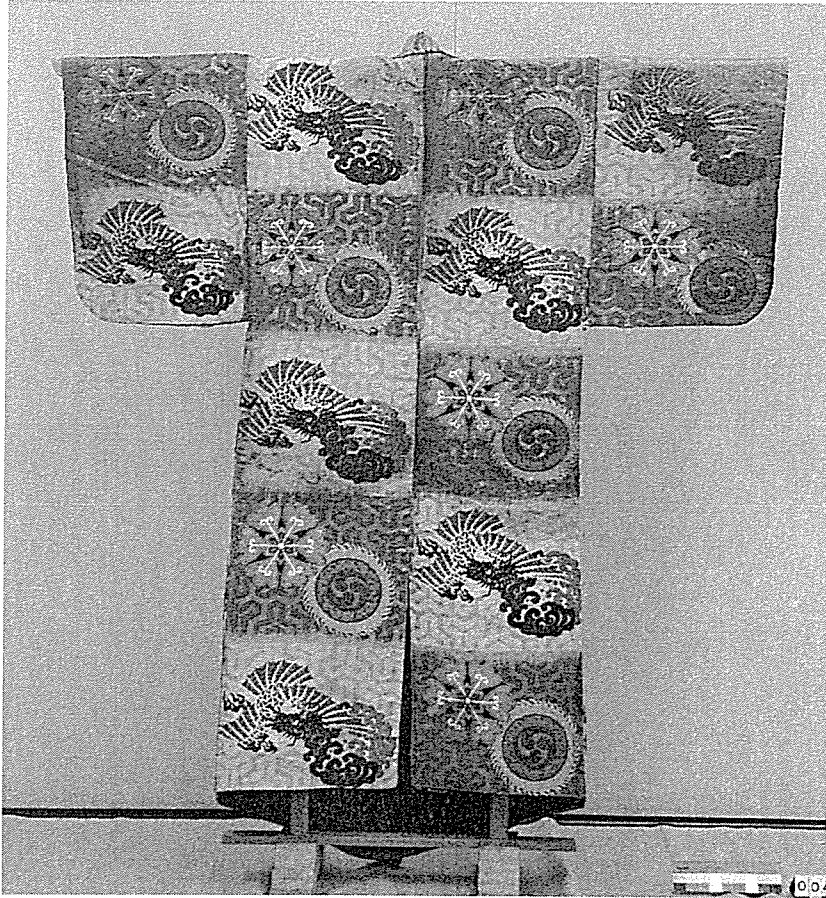
広島市指定重要文化財の指定について

このことについて、別紙の物件を文化財に指定することとしたい。

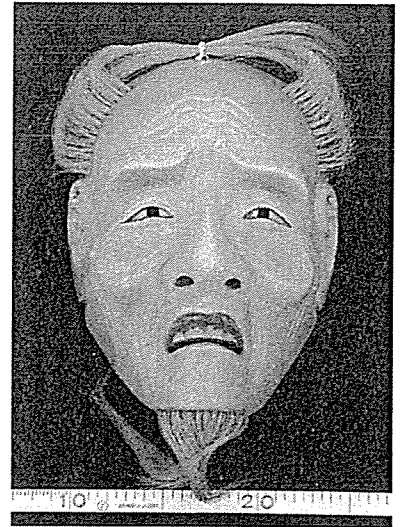
文化財指定候補概要

指定区分	広島市指定重要有形文化財（美術工芸品・工芸品、彫刻）		
名称	浅野家旧蔵饒津神社能関係資料		
所在地（寄託中）	愛知県名古屋市東区徳川町 1017 （公益財団法人徳川黎明会 徳川美術館）		
所有者	氏名 宗教法人饒津神社 住所 広島市東区二葉の里二丁目 6 番 34 号		
員数	32 点		附
内容	能装束	能面	
概要	<p>紅白段毘沙門亀甲に飛龍波丸唐花火炎太鼓文様厚板唐織 丈 141.5cm 衿 70.0cm 幕末～明治時代の作と考えられる。 厚手の地に唐織様の文様を浮き織にした華麗な装束である。</p>	<p>小尉ほか計 31 面。 江戸時代の作と考えられる。</p>	<p>能装束 3 領 能面 3 面 いずれも明治時代以降の作と考えられる。 小道具類 33 点 左記資料と一群として浅野家に伝わったものである。</p>
文化財的価値について	<p>本資料は、江戸期における華麗な特徴を有する能装束をはじめとして、広島 of 能文化の一端を伝える貴重な資料であり、旧大名家である芸州広島藩浅野家において継承されてきた来歴が明らかな能関係資料として、その価値は高い。</p>		

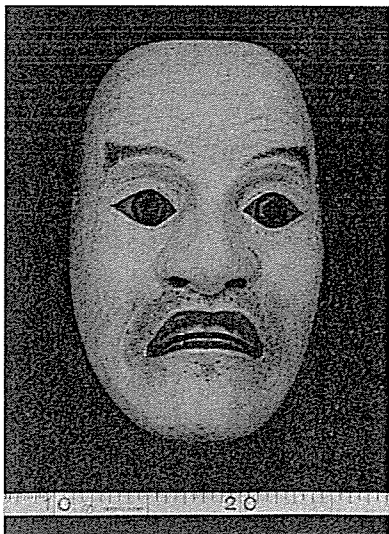
淺野家旧蔵饒津神社能關係資料



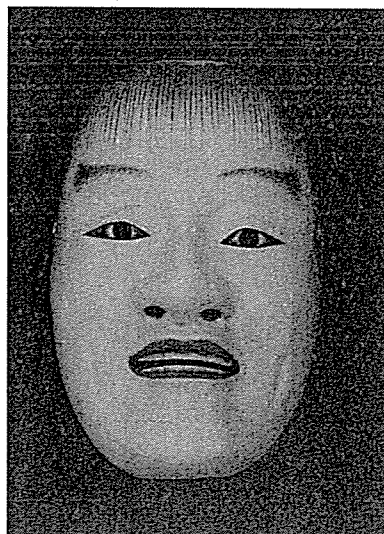
紅白段毘沙門龜甲に飛龍波丸唐花火炎太鼓文様厚板唐織



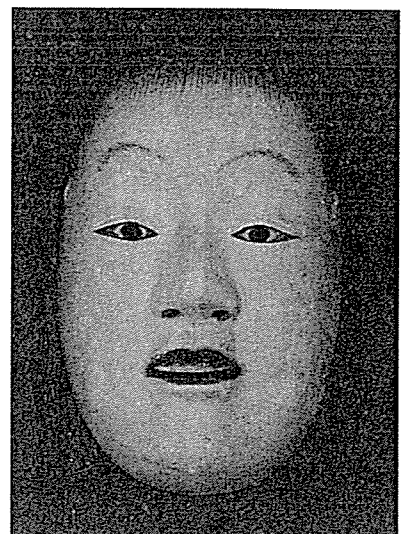
① 小尉



② 頼政



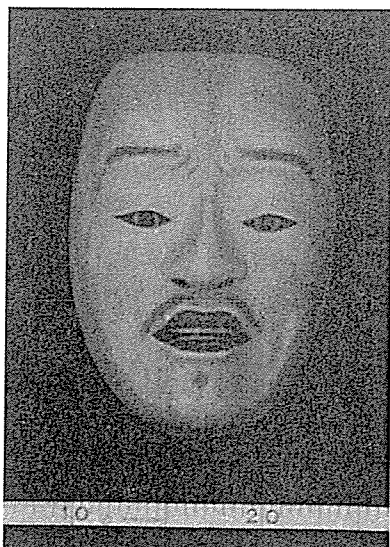
③ 童子



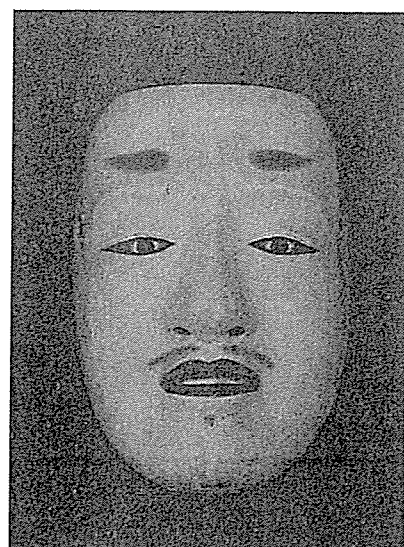
④ 童子



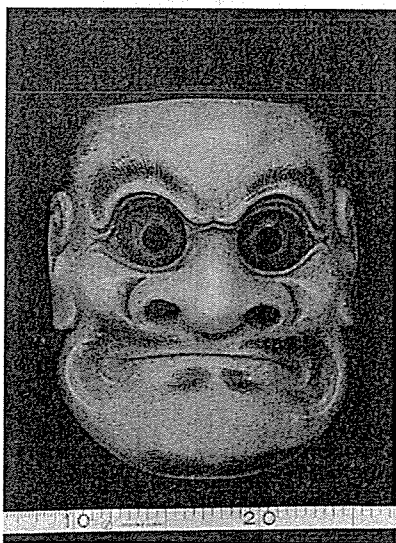
⑤ 般若



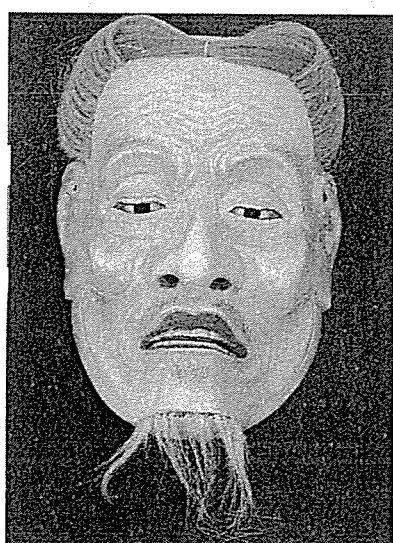
⑥ 邯鄲男



⑦ 中將



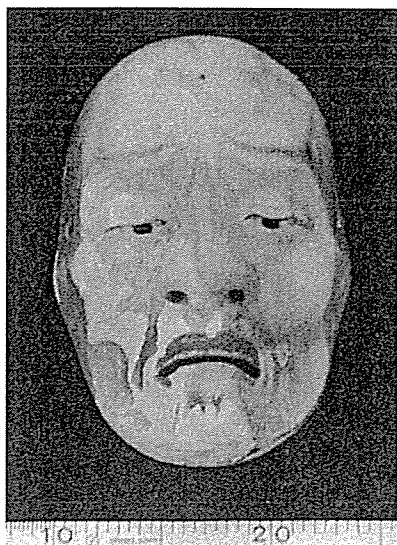
⑧ 長靈癡見



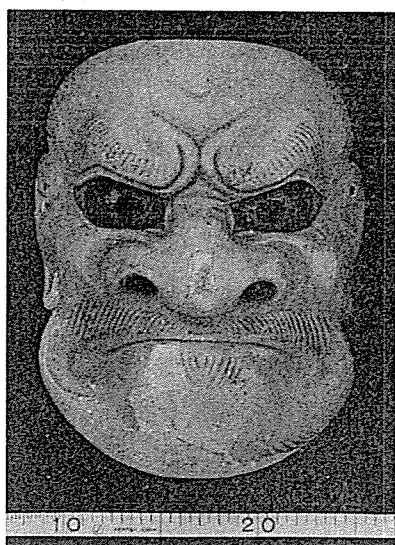
⑨ 石王尉



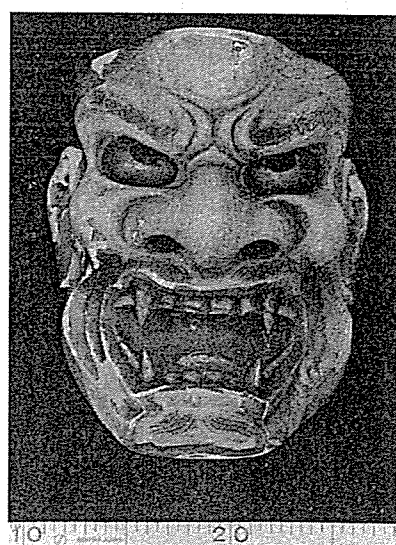
⑩ 黒髭



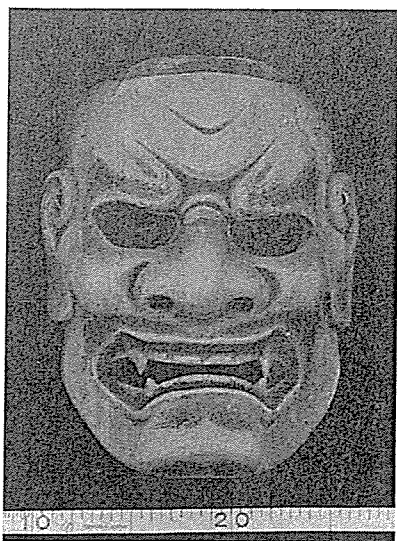
⑪ 俊寛



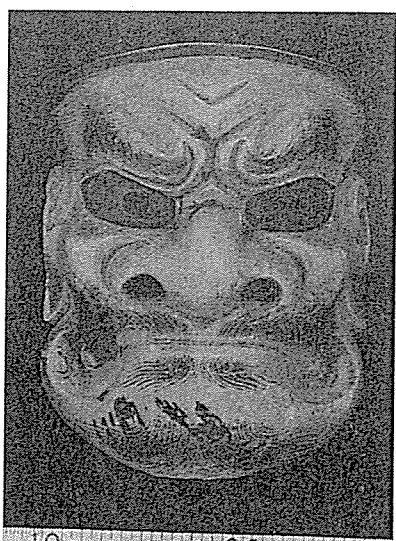
⑫ 白頭癡見



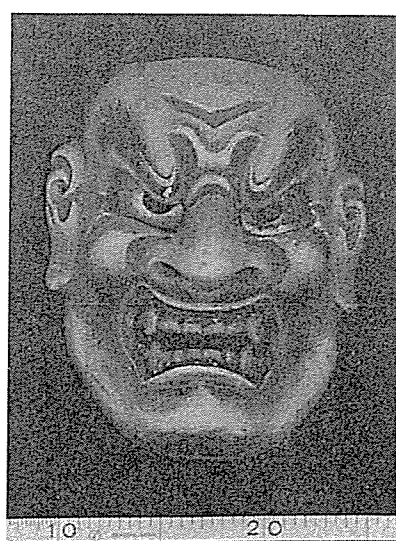
⑬ 獅子口



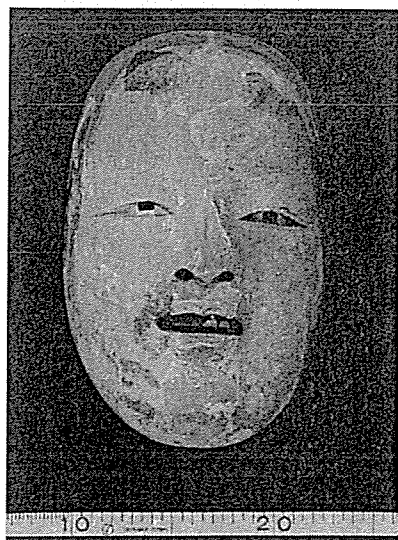
⑭ 小獅子



⑮ 大癡見



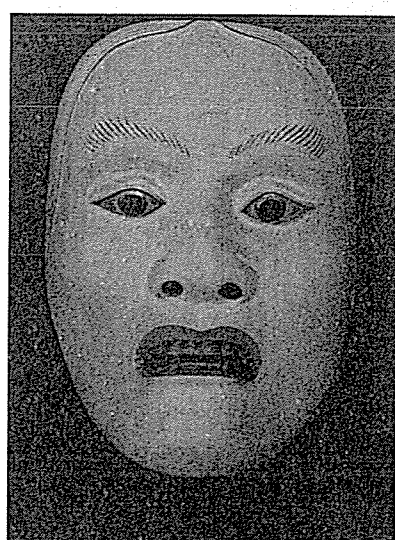
⑯ 顰



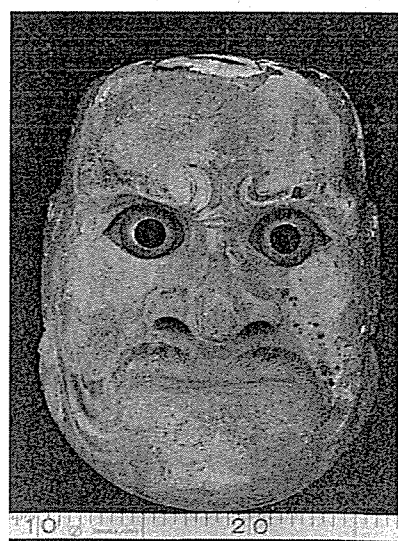
⑰ 万眉



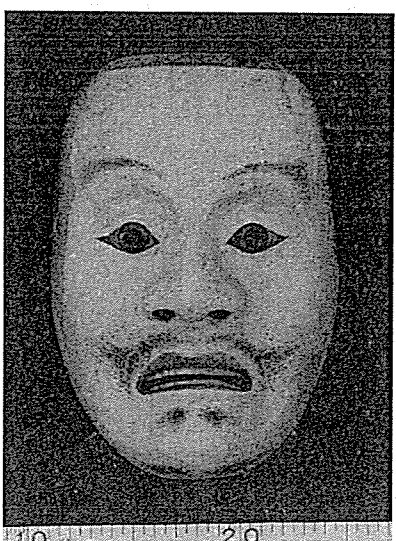
⑱ 生成



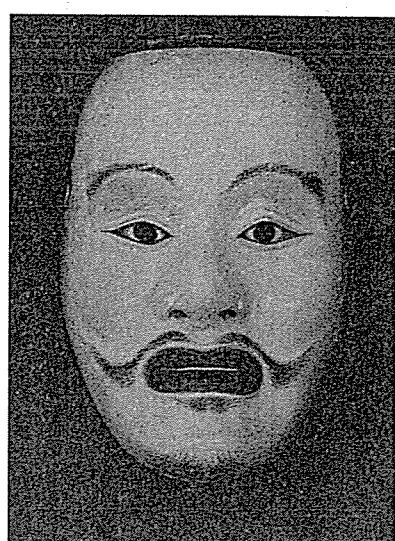
⑲ 山姥



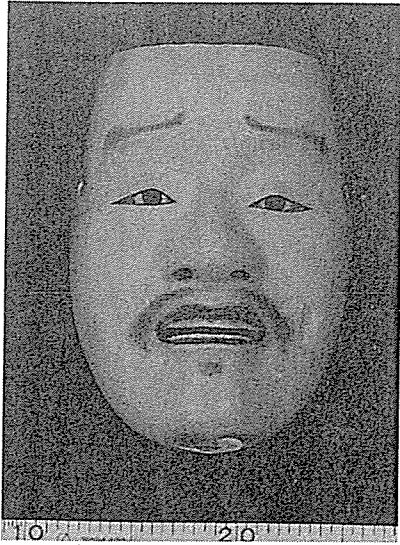
⑳ 小癡見



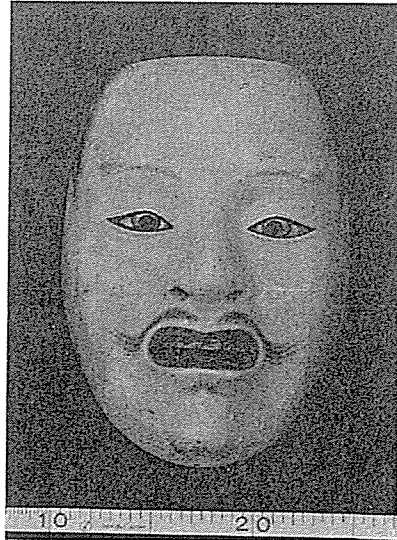
㉑ 三日月



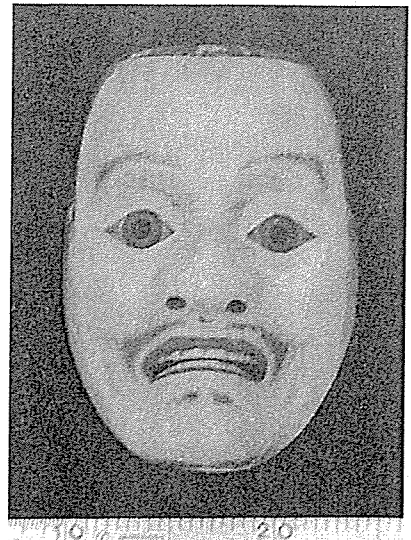
㉒ 平太



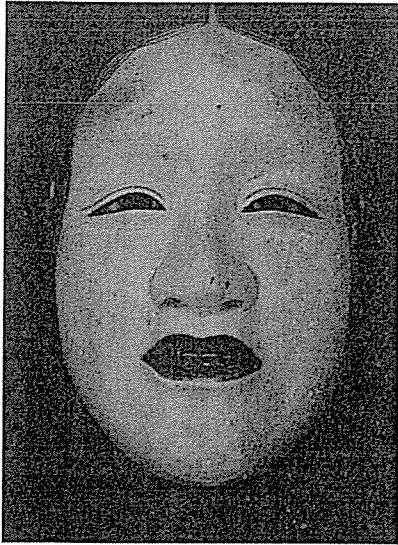
㉓ 今若



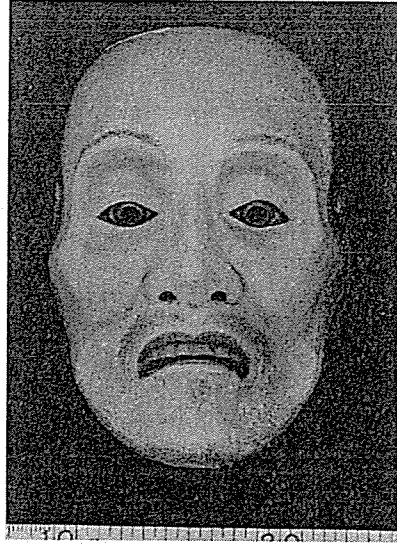
㉔ 神体



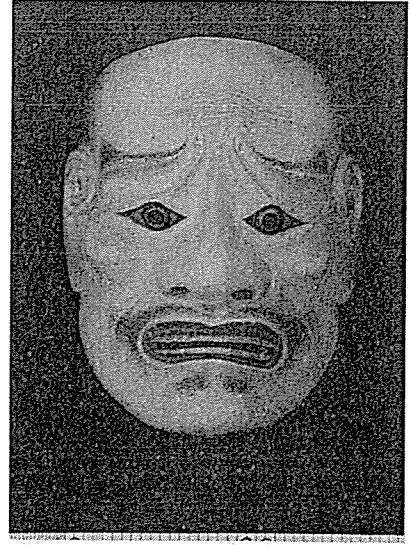
㉕ 東江



㉖ 深井



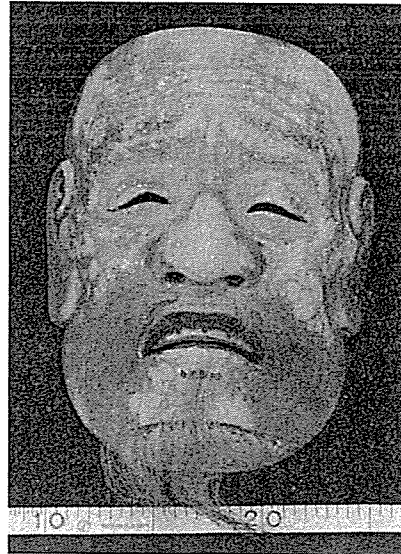
㉗ 瘦男



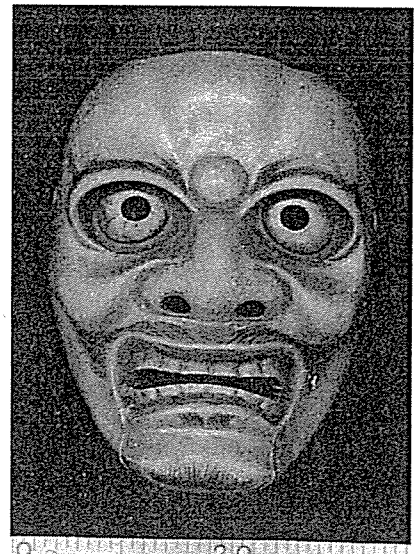
㉘ 大鷹



㉙ 小面



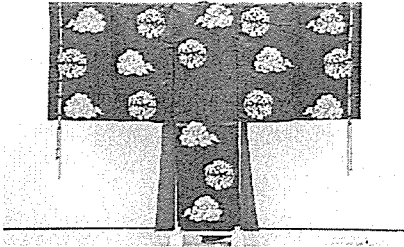
㉚ 景清



㉛ 釣眼

附

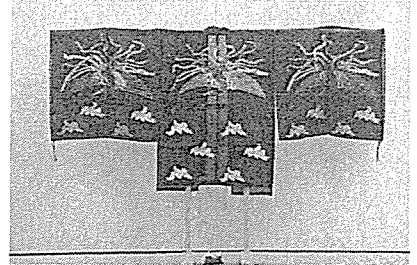
能装束



黒地飛雲双龍丸文様袷狩衣

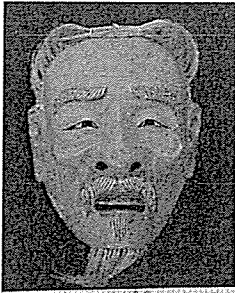


紺地桐鳳凰文様袷狩衣

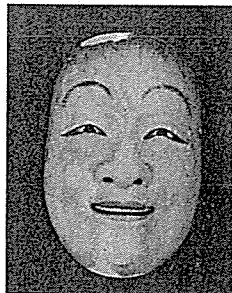


紫地桐鳳凰文様長絹

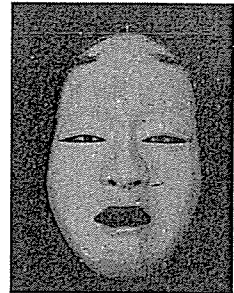
能面



小尉

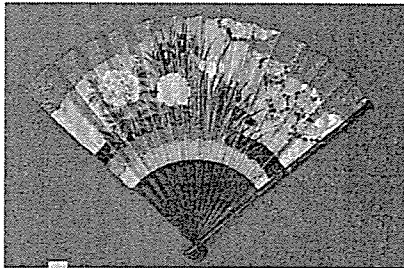


猩々

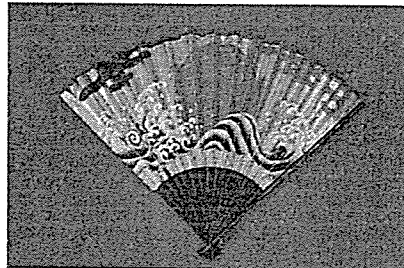


曲見

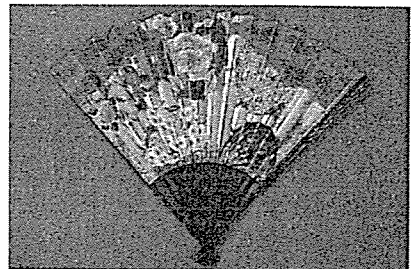
小道具類



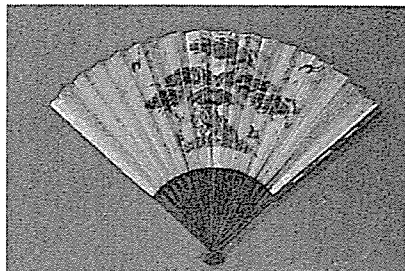
中啓黒骨1



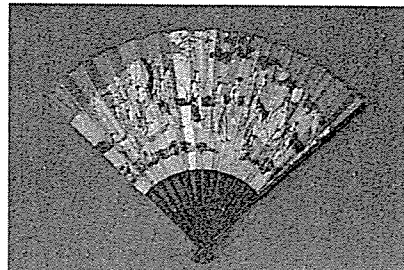
中啓黒骨2



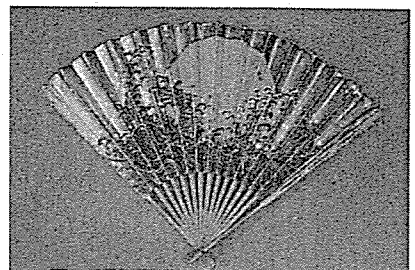
中啓黒骨3



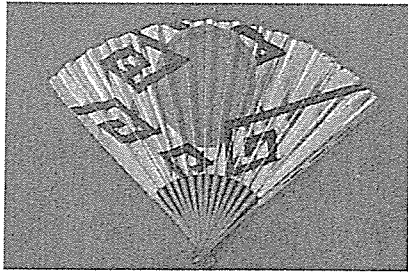
中啓黒骨4



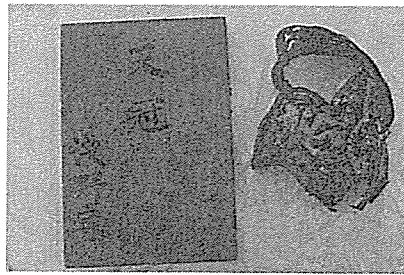
中啓黒骨5



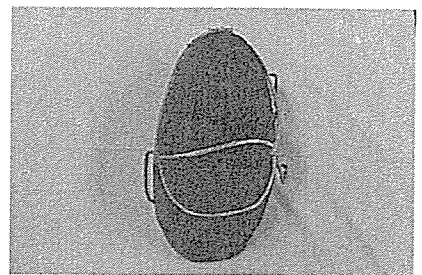
中啓白骨1



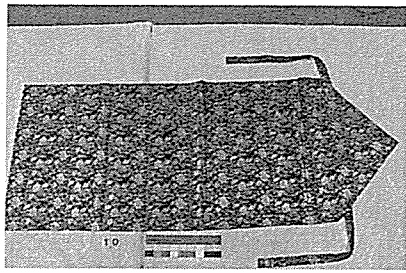
中啓白骨2



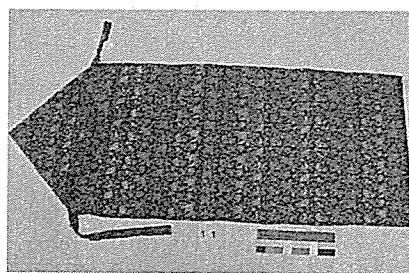
天冠



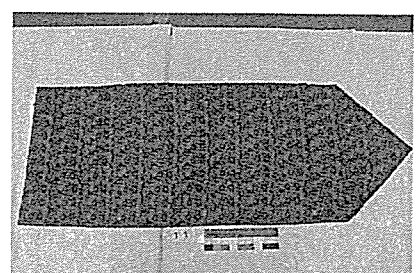
翁烏帽子



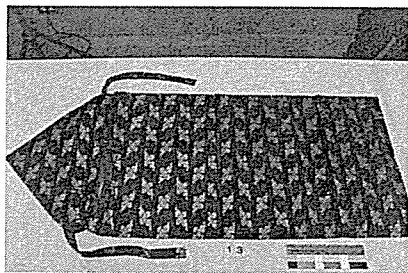
角帽子1



角帽子2



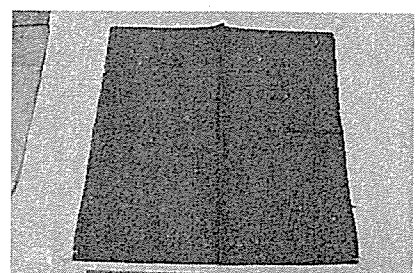
角帽子3



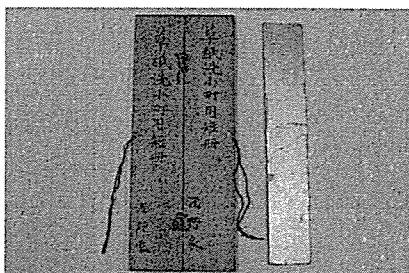
角帽子4



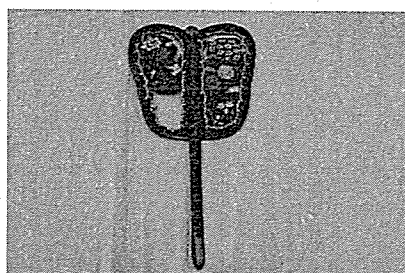
数珠



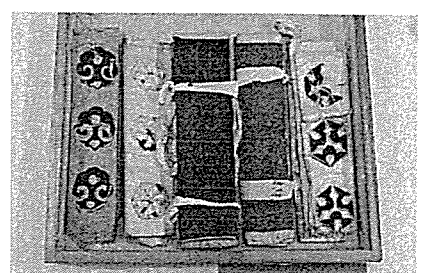
赤地金襴屋根絹



短冊 (草子洗小町用)



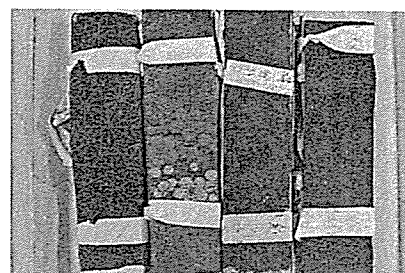
唐団扇



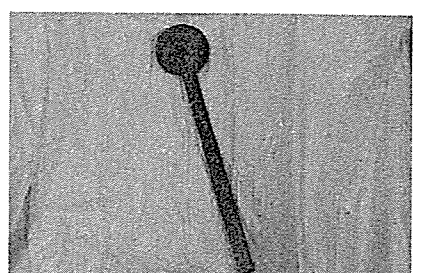
腰帯1~5



腰帯6~9



腰帯10~13



羽団扇柄

○広島市文化財保護条例

昭和 43 年 4 月 1 日
条例第 20 号

(目的)

第 1 条 この条例は、広島市内にある文化財を保存し、かつ、その活用を図り、もって市民の文化の向上発展に資することを目的とする。

(定義)

第 2 条 この条例で「文化財」とは、次に掲げるものをいう。

- (1) 建造物、絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で、市にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの及び考古資料
- (2) 演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所産で、市にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの
- (3) 衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習及びこれに用いられる衣服、器具、家屋その他の物件で市民の生活の推移の理解のために欠くことのできないもの
- (4) 史跡、名勝及び天然記念物で市にとって価値のあるもの

(文化財の指定)

第 3 条 広島市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、市内にある文化財のうち、文化財保護法(昭和 25 年法律第 214 号)又は広島県文化財保護条例(昭和 27 年広島県条例第 47 号)により国又は県が指定した文化財以外の文化財で重要なものを広島市指定重要文化財(以下「市指定重要文化財」という。)に指定することができる。

- 2 前項の規定により指定をしようとするときは、あらかじめその所有者、権限に基づく占有者又は保持者(以下「所有者等」という。)の同意を得なければならない。
- 3 教育委員会は、第 1 項の規定により指定をしたときは、その旨を告示し、かつ、所有者等に通知しなければならない。

(管理及び保存)

第 4 条 市指定重要文化財の所有者等は、この条例及びこの条例に基づく規則並びに教育委員会の指示又は助言に従い、市指定重要文化財の管理及び保存に努めなければならない。

(管理等に関する指示又は助言)

第 5 条 教育委員会は、市指定重要文化財の所有者等に対し、その管理及び保存について必要な指示又は助言をすることができる。

(管理状況等の報告)

第 6 条 教育委員会は、必要があると認めるときは、所有者等に対し、市指定重要文化財の現状並びに管理及び保存の状況について報告を求めることができる。

(現状変更の承認)

第 7 条 市指定重要文化財の所有者等は、その現状を変更しようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。

(住所等の変更届)

第 8 条 市指定重要文化財の所有者等は、次の各号の一に該当するときは、教育委員会に届け出なければならない。

- (1) 所有者等が変更したとき。
 - (2) 所有者等の氏名又は住所を変更したとき。
 - (3) 市指定重要文化財の全部又は一部が滅失、き損又は亡失したとき。
- 2 市指定重要文化財の保持者が死亡したときは、その相続人は、その旨を教育委員会に届け出なければならない。

(出品又は公開)

第9条 教育委員会は、市指定重要文化財の所有者等に対し、その文化財を出品し、又は公開するよう勧告することができる。

- 2 前項の規定による出品又は公開に要する経費は、その全部又は一部を教育委員会において負担することができる。

(補助金の交付)

第10条 市指定重要文化財の管理及び保存につき多額の経費を要し、所有者等がその負担に堪えない場合その他特別の事情がある場合には、教育委員会は、その経費の一部に充てさせるため、所有者等に対し補助金を交付することができる。

- 2 前項の補助金を交付する場合には、教育委員会は、その補助の条件として管理及び保存に関し必要な事項を指示することができる。

(指定の解除)

第11条 市指定重要文化財がその価値を失った場合その他特別の事由があるときは、教育委員会は、市指定重要文化財の指定を解除することができる。

- 2 第3条第3項の規定は、前項の場合にこれを準用する。

(審議会の設置及び所掌事務)

第12条 教育委員会に広島市文化財審議会(以下「審議会」という。)を置く。

- 2 審議会は、教育委員会の諮問に応じ、文化財の指定及び解除その他文化財の保存及び活用について必要な事項を審議する。

(審議会の組織)

第13条 審議会は、委員10人以内をもつて組織する。

- 2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) 文化財に関し識見の高い者

- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、その前任者の残任期間とする。

(委任)

第14条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和43年4月1日から施行する。

○広島市文化財保護条例施行規則

昭和 43 年 4 月 1 日
教育委員会規則第 4 号

(目的)

第 1 条 この規則は、広島市文化財保護条例(昭和 43 年広島市条例第 20 号。以下「条例」という。)の施行について、必要な事項を定めることを目的とする。

(指定の申請)

第 2 条 広島市指定重要文化財(以下「市指定重要文化財」という。)の指定を受けようとするものは、所定の様式による指定申請書を広島市教育委員会(以下「教育委員会」という。)に提出しなければならない。

2 教育委員会は前項による申請書を受理したときは、広島市文化財審議会に諮問し、適当と認められるものについて指定する。

(指定の呼称)

第 3 条 教育委員会が前条第 2 項の規定により指定する場合の市指定重要文化財の呼称は、つぎの各号の定めるところによる。

- (1) 条例第 2 条第 1 号の規定による有形の文化財は、広島市指定重要有形文化財と称する。
- (2) 条例第 2 条第 2 号の規定による無形の文化財は、広島市指定重要無形文化財と称する。
- (3) 条例第 2 条第 3 号の規定による民俗資料は、広島市指定重要民俗資料と称する。
- (4) 条例第 2 条第 4 号の規定による史跡、名勝及び天然記念物は、それぞれ広島市指定史跡、広島市指定名勝及び広島市指定天然記念物と称する。

(指定書の交付)

第 4 条 条例第 3 条第 3 項の規定により市指定重要文化財に指定したときは、所定の様式による指定書を所有者または権原に基づく占有者もしくは保持者(以下「所有者等」という。)に交付する。

(管理責任者の選任)

第 5 条 市指定重要文化財の所有者等は、特別の事情のあるときは自己に代り当該文化財を管理する者(以下「管理責任者」という。)を選任し、これに当該文化財を管理させることができる。

2 前項の規定により管理責任者を選任しまたは解任したときは、所定の様式による管理責任者選任(解任)届を教育委員会へ提出しなければならない。

(承認申請及び届出)

第 6 条 条例第 7 条の規定による現状変更の承認及び条例第 8 条各号の規定による届出については、つぎの各号による。

- (1) 現状変更等承認申請書(所定の様式)
- (2) 所有者等変更届(所定の様式)
- (3) 所有者等(管理責任者)氏名(住所)変更届(所定の様式)
- (4) 文化財所在変更届(所定の様式)
- (5) 文化財滅失(亡失、き損)届(所定の様式)

(指定書の返還)

第 7 条 所有者等は、条例第 11 条第 2 項の規定による指定解除の通知をうけたときはすみやかに指定書を教育委員会に返還しなければならない。

(文化財台帳)

第 8 条 教育委員会に広島市指定重要文化財台帳を備える。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。